

第107号

酪農とちぎ



6月27日第18回通常総会より

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 第18回通常総会
- 2 ページ 第17回乳質共励会
- 3 ページ 前組合長 坂主正氏黄綬褒章受章
- 3～5 ページ 東西南北（各支所）
- 6 ページ 米国乾草現地リポート
- 6 ページ 部課だより（業務部）
- 7 ページ 部課だより（生乳受託課）
- 8 ページ 理事会だより、令和元年度支所事業
お知らせ、市場成績

「キャラクター^{えみ}笑味ちゃん」



みんなのよい食プロジェクト



第18回通常総会開催



議長団
左より佐々木昇氏、石崎忠良氏

6月27日、第18回通常総会が高根沢町民ホールにおいて栃木県農政部畜産振興課熊田課長を来賓に迎え開催されました。

開会に先立ち、臼井組合長から本年4月より飲用向け・発酵向け乳価が4円上がり比較的好調な酪農環境の中、日々安全・安心な良質乳生産への尽力に対する敬意と感謝、昨年4月から「新畜安法」が施行され、組合員全員の委託を受ける事ができた事は、組合への期待の裏返しであり、負託に応えるよう努力すると述べました。

また、酪農家の体質強化が喫緊の課題と認識し108,357千円の緊急酪農生産基盤強化対策、後継牛安定対策費11,963千円、育成牛に対する支援対策費54,908千円の対策が措置できた事は組合に結集する組合員全

第17回乳質共励会表彰者名簿

表彰区分	支所名	組合員名	連続賞	組合外表彰
最優秀賞	那須高原	前田 宏幸	3年連続	県知事賞
	宇都宮	植木 靖	3年連続	県知事賞
	宇都宮	駒場 久	8年連続	県知事賞
優秀賞	県南	伊沢 琢磨	2年連続	農政部長賞
	県南	大木 宏泰		農政部長賞
	那須高原	桃井牧場	5年連続	
	那須高原	小針 結城	2年連続	
	那須高原	加藤 拓央		
	宇都宮	羽田 光論		
	那須高原	後藤 浩		
	宇都宮	大野 雅美		
	県南	柳 吉成		
	那須高原	室井 忠次	2年連続	
	那須高原	高柳 智紀	2年連続	
優良賞	那須高原	菊地 勇		
	那須高原	大関 一男		
	那須高原	人見 浩美		
	那須高原	蓮見 晴明		
	那須高原	太田 翼		
	那須高原	摩庭 達彦		
	那須高原	斎藤 章		
	那須高原	人見 政博		
	宇都宮	小野田耕吉		
	宇都宮	シルクランドファーム		
	那須高原	人見 寛昭		
	宇都宮	山本 修		
	県南	松山 秀夫		
	那須高原	高橋 昭		
	那須高原	高久 誠		
宇都宮	黒尾 賢一			
宇都宮	物井 通			
県南	上野 敬子			

以上、32名の方々が第17回乳質共励会において特に優秀な成績を収められました。※敬称略

員の力であると感謝の言葉を述べました。
最後に、令和元年度は第5期中構想の2年目となるが、一層の生乳生産を継続し、酪農生産基盤の確立に向け、組合員の皆様と共に一体感を持って組合運営に取り組み所存と挨拶をしました。
議長団には、佐々木昇氏（那須塩原市）石崎忠良氏（真岡市）の両名が選任され、円滑に議事を進行して頂き全議案とも原案通り可決承認されました。

議事終了後、松山副組合長の閉会宣言により通常総会を終了しました。
当日の出席状況

- | | |
|-----------|------|
| 組合員数 | 521名 |
| 本人・代理人出席数 | 127名 |
| 書面議決 | 377名 |
- 主な質疑・意見要望事項
- ① 第33条（監事の職務）変更について
 - ② 来年度の出資配当について
 - ③ 購買利用推進女性研修会の実施効果について
 - ④ ヘルパー事業・検定事業協力依頼について

第17回乳質共励会表彰

通常総会に先立ち、乳質共励会の表彰が行われました。受賞された方々には、敬意を表しお祝い申し上げます。



最優秀賞・知事賞
駒場 久氏（8年連続）



前組合長 坂主正氏に黄綬褒章



前組合長 坂主正氏の黄綬褒章受章祝賀会が7月11日、臼井勉酪農とちぎ代表理事組合長が発起人代表となり、ホテルニューイタヤ「天平の間」において、栃木県農政部をはじめ関係者約百余名が参加して盛大に開催されました。

祝賀会は、臼井勉発起人代表挨拶にはじまり、川嶋一久専務理事から功績披露、福田富一栃木県知事（代読）、砂金甚太郎全酪連会長（代読）、菊池一郎関東生乳販連代表理事会長が祝辞を述べられました。

続いて、記念品、花束が贈られ、坂主正氏より、「今回の受章は、ご臨席いただいた皆様をはじめ、これまで支えていただいた多くの方々の御教示の賜物であり感謝申し上げます。この褒章受章に甘んじることなく、酪農、その他事業に尽力したい。」と謝辞があ

りました。
このあと、津久井富雄大田原市長の乾杯の発声で祝宴となりました。

坂主正氏は、昭和40年高校を卒業すると、家業である農業経営に従事し循環農法に基づいた「デンマーク農業」に取り組むため新たに乳牛1頭を導入し酪農を開始しました。以来、酪農経営に情熱を注ぐとともに地域の農業後継者の中心的役割を果たしてきました。

こうした氏の真摯な姿勢と卓抜した行動力が評価され、昭和54年には、那珂川牛群検定組合初代組合長として平成3年まで運営に携わりました。

その後、六次産業化に取り組み、平成9年に「旬ジョセフィンファーム」を設立し発酵乳の製造・販売を開始し、地産地消に取り組み、酪農から生まれる堆肥の有効活用を図り循環農法の確立に向け、新たにアスパラガスの生産にも取り組み、那須地域の特産品として一大産地を形成しています。

平成12年那須高原酪農業協同組合の設立発起人として設立に参画し、理事に推挙され広域合併を進めるべく積極的に取り組み、栃木県下六酪農協の広域合併を実現されました。平成13年8月1日に設

立された酪農とちぎ農業協同組合の理事に就任され、その後代表理事副組合長に就任し、平成26年7月からは代表理事組合長として現場第一主義に基づいた組合員ニーズの吸い上げに努め、良質自給飼料の確保を図るため、「株酪農とちぎアグリサポート」を設立し、組合発展に尽力されました。

さきに、産業振興功労として県知事表彰を受けられ、この度は、酪農・畜産の振興と発展に多大な貢献をされた功績により黄綬褒章の栄に輝かれました。

皆様とともに心より功績を讃え、坂主正氏の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

◀坂主正氏による挨拶



ホテルニューイタヤ「天平の間」において▶

東西南北

那須高原支所

函館・ロマンの旅研修会開催

女性会塩原・西那須野支部（中村典子支部長）では、7月3日、4日に北海道函館方面への研修旅行を行いました。

今回は、他の女性会支部員との交流、親睦を深めるため、支部員15名と大田原支部員4名の参加もあり合同での実施となりました。

初日は、新幹線での移動で、青函トンネルを抜け、函館新北斗駅にて観光バスと合流、昼食を済ませたのち、函館戦争の舞台でもあった五稜郭公園を散策しました。五稜郭タワーの展望台からは足元の五稜郭公園をはじめ、函館山や津軽海峡を一望できました。

その後、トラピスチヌ修道院を見学し、宿泊先の湯の川温泉に到着しました。夕方のお食事はバイキング料理で、港町函館の新鮮な海の幸と、季節ごとに味わえる旬の食材を使用した様々な料理に舌鼓を打ちながら、それぞれ親睦を深めることができました。

夕食後は、世界三大夜景のひとつでもある、函館の夜景を見に、観光バスに乗り宿を出発。函館では連日雨雲が広がり、夜景を眺めることができるか不安ではありましたが、この日は天候に恵まれ、





五稜郭タワー前にて

最高のロケーションで、夜景を眺めることができ、皆さん夜景の美しさに感動されている様子でした。

2日目の朝は、活気あふれる函館の朝市にて、夕張メロンを試食しつつ、新鮮な海鮮物をお土産に購入したのち、教会群や八幡坂等がある元町を、散策しました。

その後、金森赤レンガ倉庫での自由時間では、思い思いにお買い物を楽しむことができました。

昼過ぎに函館の地を後に、新幹線での帰路の途中、仙台駅に途中下車し夕食をとり、無事栃木へ帰ってくることができました。

充実した2日間を過ごすことができ、日々の英気を養うことができました。また今回は普段あまりお話する機会が少ない、大田原支部の皆さんとも交流でき、実りある研修旅行となりました。

「健康を守る牛乳」研修会開催

女性会那須支部（竹内禮子支部長）は、7月5日に那須高原支所会議室にて、支部員25名の参加のもと、一般社団法人Jミルクマーケティンググループ池上秀二氏をお招きし、牛乳の健康効果について学びました。

まず、Jミルクでは様々なアンケート調査を実施しており、消費者の酪農家に対する印象についてお話しいただきました。調査結果では、プラス面について、社会性があり、愛情深さ、仕事への姿勢について尊敬と感謝といった印象を持たれている反面、経済動物と分かっているのが、動物をモノとして見ているのではないか、労働が厳しいなどとマイナスの印象もあげられました。Jミルクではこのような調査をもとに、ウェブや情報誌による酪農家をはじめ酪農や牛乳に携わる人の活動レポートを発信し、より酪農家と消費者を結び付けるためのサポートを行っています。最近では、北海道胆振東部地震による店頭での牛乳不足や、生乳出荷が出来ない状況をメディアで多く取り上げられた影響で、酪農家への共感度が上がり、牛乳の消費率増加に繋がっているとのことでした。

高齢化社会に伴い、牛乳と運動は、身体を守る重要な役割を担っていることを池上氏より教えていただきました。牛乳と比べ、カルシウムが豊富なイメーajですが、実は筋肉を作り出す重要なアミノ酸（たんぱく質）も



牛乳の健康効果を学ぶ

と）が豊富に含まれ、大豆たんぱく質に比べ体内で筋肉をつくるスピードが上がりやすく、効果もより長く続きます。特に栄養吸収率が高い「運動後30分以内にコップ1杯の牛乳」を飲むことが推奨されます。また、年齢とともに食事が減少すると言われますが、摂取量低下は、筋肉活動量の低下に繋がり、認知症やアルツハイマーになる危険リスクを高めます。牛乳を飲んで軽い運動をすることで血液循環と代謝機能が促進し、健康な身体が生み出され、病气予防に繋がります。

これから梅雨も明け暑熱時期、農繁期を迎えます。熱中症対策、疲労回復のため、牛乳を飲んで大変な時期を乗り越えましょう！また、酪農家自らが牛乳の効能を発信することで、沢山の人が牛乳を取り入れてもらう機会がどんどん増えたら良いと思います。

宇都宮支所

女性会研修会を開催

●那須南支部研修会
女性会那須南支部（興野礼子支部長）では、7月3日に17名の参加のもと、東京方面への研修会を開催しました。

まず、豊洲にある「チームラボプラネッツ」です。巨大な作品の中を裸足になって歩くことができ、LEDのクリスタル電飾やプロジェクションマッピングを用いた映像美に一同幻想的な世界に引き込まれました。

次に向かったのは、汐留の劇団四季「海」でアラジンを観賞しました。ブロードウェイで大ヒットしているディズニの最新ミュージカルを日本版として上演しています。アニメや映画の世界観はそのまま、迫力ある、そして楽しい時間を過ごすことが出来ました。



「チームラボプラネッツ」にて



た。早朝からの研修で疲れもありましたが、バス車内も会話が途切れることなく、充実した研修会となり、仕事を忘れ、リフレッシュできた楽しい1日となり、今後の活力となりました。

●女性会塩谷支部研修会

女性会塩谷支部（加藤京子支部長）では、7月4日に10名参加のもと、豊洲市場青果棟と国会議事堂見学の研修を行いました。

豊洲市場は、青果棟のみの見学でしたが、卸エリアは平床式の完全封鎖型で、空調管理がしっかりされていました。自動立体低温冷蔵庫や自動垂直運搬機等最新の設備には驚くものばかりでした。次に向かったのは、17年の歳月をかけて作られた国会議事堂です。国会議事堂には、外国製のものが3つあるそうです。一つはステンドグラス、一つ目はドアノブの鍵、そして三つ目は廊下にあるポ



国会議事堂内にて

ストで、これは今も使われていて投函すると地下に集められるそうです。今回、衆議院議員の築先生のご厚意で普段見学出来ない部屋も見せて頂け、参加された皆さんが楽しまれた1日となりました。今後も、支部会員同士の親睦と意識向上を図れる様な活動を行っていく予定です。

県南支所

女性会2支部が

“食”関連の工場を視察

●キューピー五霞工場視察
7月3日、女性会芳賀支部（小林峰子支部長）では18名参加のもと、茨城県のキューピー五霞工場を視察してきました。同工場は、昭和47年にマヨネーズとドレッシング製造の工場として作られ、従業員2,300名、2交代で稼働しています。工場内は機械化され、安全・安心な製品の製造に注力されています。視察時には、特に「1



キューピー五霞工場にて

分間に卵を600個割卵する”機械を見て、参加者一同その速さに感嘆の声をあげていました。今回は、工場視察のほか「道の駅さかい」にて、地元食の食材と麴を用いた、地域性豊かな食事も楽しみました。また、移動中のバス車中では、今後立ち上げる、女性後継者等の集い”に向け協力依頼するなど、地域活性化の話題も出て、有意義な研修会となりました。

●グリコ・ピアリスト視察

7月8日、女性会河内南部・都賀支部（坂本三枝子支部長）では12名参加のもと、埼玉県のコ・ピアリスト（グリコ菓子工場）を視察してきました。同工場は従業員500名、3交代で稼働し、1日にポッキー7万箱、プリッツ2万箱を製造しています。視察時には、ポッキーの原料混合から仕上げ・包装までの生産ラインを見たほか、途中クイズコーナーもあり、楽しみながら視察することが



グリコ・ピアリストにて

ができました。また、視察と併せパレスホテル大宮でお洒落な食事を楽しみ、十分に満喫されました。 “食べて学んで” 思い出に残る一日となりました。

「消費税の軽減税率制度」研修会

7月19日、支所活動推進協議会（大瀧信夫会長）主催の研修会が、県南支所で開催されました。講師には、齋藤税理士事務所（齋藤謙一氏）（酪農とちぎ顧問税理士）をお招きし、消費税の軽減税率制度について、39名が受講されました。本制度は10月1日から実施予定であり、受講者は制度内容や今後の対応について、熱心に耳を傾けていました。また、組合員からの事前質問に対する回答もして頂き、より具体的に学べたことと思います。

今回の研修会を通し、帳簿の記帳や申告書作成の一助に繋がればと思います。



支所活動推進協議会研修会



米国ワシントン州産粗飼料検品リポート

6月16日から9日間訪問

購買企画課係長 会沢 健作

※アルファルファ情勢

今年度は冷涼な気候であったため、コロンビアベースン南部では例年に比べ2週間ほど遅い5月下旬から刈取りが始まりました。私が訪れた6月18日には、コロンビアベースン、エレンズバーグ共に1番刈りの収穫はほぼ終了していましたが、刈取り初期は良い天気でしたが、開始まもなく10日間ほど雨が続いた影響で、刈り遅れ品や雨当たり品が多く発生しました。今年の特徴として、例年よりも茎が固く全般的にドライな傾向があり、成分の低めな品が多く発生し、プレミアム成分の品は限定的となっています。また、刈り取り適



期を過ぎた圃場が多いため、例年よりも反収が高い傾向となっています。グレード割合として、コロンビアベースンのプレミアム品発生率は15〜20%、それ以外の80〜85%はスタンダード品以下ということでした。18年産のキャリアはほとんど無く、全体でプレミアム品不足になるとのことで、ニュー

クロップからの価格動向は強含みで推移するもようです。2番刈りについては既に始まっています。が、まだ工場には搬入されておらず、2番刈の初搬入は2〜3週間後になる見込みです。1番刈りプレミアム品が全体的に少ない為、2番刈りプレミアム品に買付が集中する可能性があり、更に価格が高くなるかもしれないと現地サプライヤーは危惧していました。

*チモシー情勢

1番刈の収穫は、生育に適した冷涼な気候と乾燥時の強い風の影響で水分調整も長引かず、良品が



多数発生しています。見た目にも綺麗なプレミアムデイリーグレードが多く生産されていることから、ニュークロップからの価格動向については弱まる見込みとの情報です。



業務部

酪農とちぎ青年部

ソフトボール大会開催

7月3日、にしなすの運動公園において、青年部（山本訓部長）主催令和元年度ソフトボール大会が開催され、各支部より8チーム約110名が参加し、熱戦を繰り広げました。

連日の降雨も前日までに落ち着き、当日は所々雲の切れ目から陽の

令和元年度青年部本部ソフトボール大会結果

開催場所：那須塩原市 にしなすの運動公園

ブロック	優勝	準優勝	第3位	第4位
Aブロック	塩原 西那須野	河内南部 下都賀 芳賞合同	黒磯A	那須
Bブロック	大田原	那須南	塩谷宇河 今市合同	黒磯B

光が差し込む良い天気の中、白熱した試合が展開されました。大会を通し歓声と笑いの中で、相互の親睦を深めることができました。

試合は2ブロックにより行われ、塩原・西那須野チーム、大田原チームが優勝されました。試合結果は右表の通りです。選手と応援の皆様、大変お疲れ様でした。



生乳受託課

令和元年6月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し99・0%（1万9619t）と春産み頭数の減少もあり7ヶ月振りに前年を下回りました。各支所の受入乳量は、那須高原支所1万2841t（前年比98・7%）、宇都宮支所2435t（同97・2%）、県南支所4343t（同101・0%）となり、出荷者数は、前年同月より15戸減の398戸（内、学校は1校）と400戸を割りました。

6月度の組合平均乳質は、脂肪率3・73%（前年差+0・03%）、無脂固形分率8・75%（同+0・01%）、体細胞数20・09万（同▲0・44万）と各々前年を上回る好成绩となりました。

関東生乳販連の6月総受託乳量は8万7361t（前年比96・6%）となり、24ヶ月連続し前年を下回る状況となりました。

用途別の販売数量は、飲用向け96・8%と生産量並みに推移、はっ酵乳向けは99・3%と堅調に推移しております。

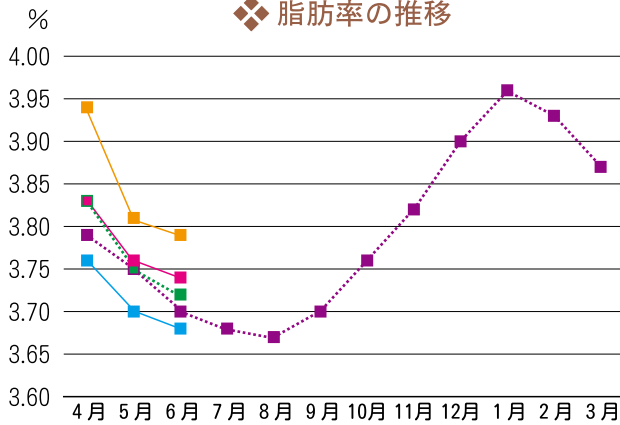
6月の全国の生産量は、北海道

が前年比101・1%と4ヶ月連続し前年を上回りましたが、都府県は96・6%と低迷し45ヶ月連続前年を下回り、全国の生産量も99・1%と10ヶ月連続で前年を下回りました。
尚、令和元年6月の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりです。

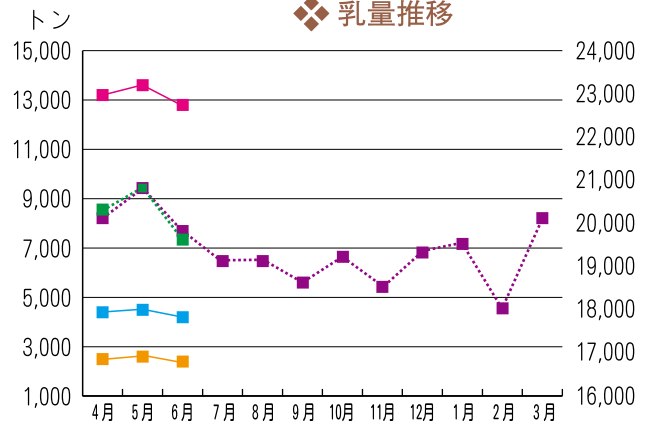
令和元年度 関東生乳販連用途別販売数量（単位：kg・%）

用途	6月期実績	前年同期実績	前年比	6月末実績(累計)	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	69,035,875	71,308,448	96.8	209,963,260	215,353,957	97.5
（うち学校向け）	12,417,063	12,906,740	96.2	32,469,613	34,592,419	93.9
はっ酵乳向け	12,569,954	12,657,342	99.3	38,885,279	38,231,733	101.7
脱粉・バター等向け	4,524,622	4,997,913	90.5	20,266,055	21,977,316	92.2
（うち委託加工向け）	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,167,317	1,396,867	83.6	3,883,629	4,493,668	86.4
チーズ向け	63,642	59,490	107.0	191,142	190,844	100.2
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	87,361,410	90,420,060	96.6	273,189,365	280,247,518	97.5
脱粉・バター等向け比率	5.18	5.53	-	7.42	7.84	-

◆ 脂肪率の推移

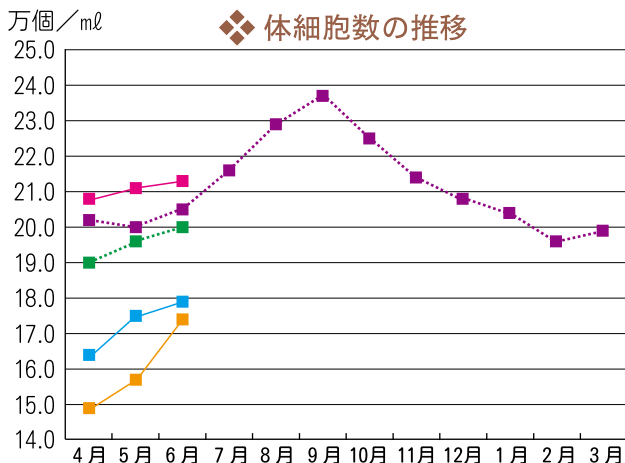


◆ 乳量推移

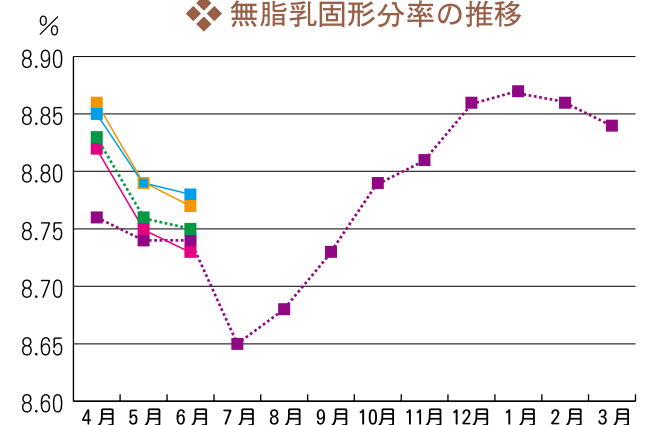


■ 那須高原 ■ 宇都宮 ■ 県南 ■ 令和元年度 ■ 平成30年度

◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



理事会だより

5月度理事会（5月31日）

報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 平成30年度事業実績について
- (二) 剰余金処分について（案）
- (三) 平成30年度乳質共励会表彰（案）について
- (四) 4月度事業実績について
- (五) 外部団体等の役員推薦について

6月度理事会（6月28日）

報告事項

- (一) 業務経過報告について
- (二) 組合資金貸付について
- (三) 組合プール乳価について
- (四) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 5月度事業実績について
- (二) 理事報酬の配分について
- (三) 夏季手当の支給について
- (四) 役員賠償責任保険の更新について
- (五) ふれあい牧場育成牛舎建設委員会設立について

《令和元年度支所事業》

各支所において、支所活動推進協議会が開催され以下の事業が決定しました。

【那須高原支所】

- 6月11日 花の苗配布
（マリーゴールド、ブルーサルビアを配布）
- 8月6日 第17回那須高原野外パーティー

組合員間の親睦交流を深めるため、那須町共同利用模範牧場にて野外パーティー（バーベキュー、お楽しみ抽選会等）

- 12月 全体研修会（講演会）
- 2月 ボウリング大会

※全体研修会、ボウリング大会についての日程等詳細については、後日お知らせいたします。

【宇都宮支所】

- 8月9日 支所全体交流会
支所前広場にて開催
（バーベキュー、お楽しみ抽選会等）
 - 10月 花の苗配布
 - 11月 第1回全体研修会
内容…未定
 - 2月 第2回全体研修会
内容…未定
- 詳細は、10月の役員会で決定します。

【県南支所】

- 年度内随時 青色申告学習会
組合員の根本壽一氏（ソリマチ農業ソフト認定アドバイザー）と大阿久善之氏（青色申告指導員）が、記帳指導及び青色申告決算書の作成を指導
- 7月19日 全体研修会
内容…消費税の軽減税率制度
講師…組合顧問税理士 齋藤讓一氏

- 11月上旬 花の苗配付
- 3月上旬 確定申告相談会
- 組合顧問税理士により実施
- 3月下旬 全体交流会
（バーベキュー、お楽しみ抽選会）

お知らせ

組合員加入のご案内

酪農とちぎは、組合員の皆様の方と出資金によって運営されていますが、年々組合員数が減少している状況にあります。

今年は皆様のご協力により増加に転じますよう、皆様のご加入をお待ち申し上げます。

一口一〇〇〇円の出資から加入可能です。酪農に従事されているご家族の方等の加入を是非ご検討いただけますようお願い申し上げます。

6月度 ホクレン初妊牛市場成績 [単位：千円（税込）]

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
釧路	6月12日	265	126	47.5%	711	10	6	913
根室	6月13日	450	301	66.9%	703	50	36	929
豊富	6月14日	254	161	63.4%	723	4	3	897
北見	6月19日	375	251	66.9%	682	12	7	757
十勝	6月20日	682	612	89.7%	785	115	104	953
合計		2,026	1,451	71.6%	721	191	156	890
前月		2,562	1,568	61.2%	808	272	184	928
前年同月		1,841	1,582	85.9%	917	177	164	1,078

初妊牛の今後の動向は10月～11月分娩が中心となります。今年の4～6月は、昨年と比較してもかなりの値下げ基調となり、4月平均915千円だった相場が6月は上記の通り721千円と200千円近く下落しています。夏産み分娩腹での需要減の他、道内外のメガ・キガファームの引き合いが弱まった事や、補助事業などによる乳牛資源増が複雑に影響した結果、今回の相場下落につながったものと思われます。今後は秋分娩腹となり引き合いが強まる事が予想されますので、全体として相場は上昇傾向で推移するものと思われます。導入を希望される方は腹条件・分娩月によって手に時間がかかることも予想されますので、十分余裕をもってのお申込みをよろしくお願い申し上げます。

6月度 県内家畜市場成績 [単位：円（税込）]

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
那須(6/30)	ホルス雄	79	66	216,000	78,840	173,620	13,478
	F 1雄	99	64	479,520	43,200	402,862	26,744
	F 1雌	86	61	413,640	183,600	338,643	29,069
館林(6/27)	ホルス雄	1	99	0	0	206,280	206,280
	F 1雄	3	99	473,040	460,080	468,360	▲2,160
	F 1雌	7	95	393,120	293,760	365,503	9,103

今回の初生牛取引価格は前回から比較し、概ね強含みで推移しています。那須市場では前回の報告後もF1雄価格は上昇を続け、6月10日には過去3年間の平均価格で最高額となる415千円を記録しました。F1雌も同日342千円と高値を付けています。例年夏から秋にかけて初生牛相場は下落基調になる事が多いですが、すでにかなりの高値になっていることから、例年の相場帯までは下からず、概ね高値安定のまま若干弱含みで推移するものと思われます。館林市場では成立頭数が少なく回ごとに値動きを繰り返しながらも、概ね那須市場と似たような形で推移していくものと思われます。